

# 外来担当医表 令和4年1月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科	1診	田中宏幸(第1,3週) 伊藤成弘(第2,4週) 坂部茂俊(第5週)	杉本 和史 大杉 和生	河俣 真由	小林 壮一郎	応援医師	ペース メーカー 第1月曜日 坂部
	2診	田中 隆光			研修医	為田 雅彦 (第2,4週)	
	循環器内科(予約)		伊藤 弘将	小藪 助成	世古口 茂幸	大杉 和生	
内科(呼吸器)(午後予約)			畑地 治(第4週)				
内科(血液・感染症)(予約)					鈴木 圭(第2週)		
内科(糖尿病)						伊勢赤十字医師 (第3週)	
内科(透析センター)		大杉 和生	小藪 助成	大杉 和生	大杉 和生	小藪 助成	
健康診断		小藪 助成				藤川 勝彦	
外科	1診	大森 隆夫		大森 (予約のみ)	大森 隆夫	畑中 友秀	
	2診		畑中 友秀		水野 修吾 (第2,4週)		
乳腺外来(第1月曜14時~予約制)		花村 典子 (第2週午後)					
胃カメラ(検査のみ)		外科・ 消化器内科医	河俣 真由		消化器内科医師	田中 隆光	
大腸内視鏡(検査のみ)					消化器内科医師		
整形外科	初診	山部 陽平	佐野 友彦	●山部 陽平	佐野 友彦	三重大学医師	水曜日は ●10時~ 診察開始
	再診	佐野 友彦	山部 陽平	●佐野 友彦	山部 陽平	山部 陽平 佐野 友彦	
小児科	午前	三重大学医師		三重大学医師	三重大学医師		
	午後(予約)	ワクチン外来 三重大学医師		ワクチン外来 三重大学医師	乳児健診 三重大学医師		
産婦人科		野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	野村 浩史	
耳鼻咽喉科				北野 雅子	今西 義宜		
眼科		玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	玉置 力也	木曜日 第1週目のみ 三重大医師
皮膚科	午前	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	前田 吉民	
	午後 (13時半~15時半受付)			前田 吉民			
泌尿器科		吉尾 裕子	佐谷 博之	佐谷 博之	杉野 友亮	佐谷 博之	
放射線科(予約制)						野本 由人 (第4週)	
精神科(小児のみ)(予約制)						中西(第2週) 柿元(第4週)	
脳神経内科(予約制)					三室 マヤ	伊井 裕一郎	
脳神経外科			栃尾 廣				

※学会等で休診または代診になる場合がありますので、お問い合わせください。

## みなさまの声を聞かせてください

本誌へのご感想やご意見、ご要望などございましたら、院内に設置されている患者さんの声に投稿いただくか、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：  
尾鷲総合病院 病院総務課 総務係  
owase-hp@city.owase.lg.jp  
TEL 0597-22-3111



## 病院の理念

- 高度医療に対応できる東紀州地域の中核病院
- 地域の保健・医療・福祉との連携を促進し、地域の人々と共に創る病院
- 患者様に信頼され、いつでも安心して受診していただける患者様主体の総合病院
- 教育、研修機能を持つ病院
- 質の高い医療技術とサービスを提供する病院
- 職員一人ひとりが、病院の将来ビジョン・経営について考える病院

Owase General hospital 尾鷲総合病院 / あなたにプラスな情報をお届けします

発行/尾鷲総合病院  
編集/尾鷲総合病院  
編集協力/TCK Nagoya  
所在地/三重県尾鷲市上野町5番25号  
TEL/0597-22-3111  
FAX/0597-23-3285  
ホームページ/http://owasehp.jp

# おせ+

## プラス

# 第28号

2022.1月発行

向井 弁財天



最新情報

## マイナンバーカードによる健康保険証などの資格確認

尾鷲総合病院では、健康保険証による資格確認を行っていますが、マイナンバーカードによるオンライン資格確認もできるようになりました。

顔認証付カードリーダーにマイナンバーカードを挿入し、ガイダンスに従って簡単な操作をすることで資格確認ができます。

また、患者の同意があった場合、医師等が電子カルテ内で特定健診情報の参照や他の医療機関が処方した薬剤情報の参照を行うことができます。

マイナンバーカードによるオンライン資格確認では、健康保険証や限度額認定証の資格確認を行うことができますのでご利用ください。

お問い合わせ先

尾鷲総合病院 ☎ 22-3111 (内線 223)



新年明けましておめでとうございます。令和の時代になり早 3 年経過しました。また日頃から皆様には当院へのご理解ご協力を頂き心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は COVID19（新型コロナウイルス感染症）のパンデミックに振り回されました。三重県でも一時1日500人を超える感染者が出る事態となり、特に北勢・中勢は医療崩壊に近い事態となりました。東紀州地域での発生は多くはありませんでしたが、それでも尾鷲市は東紀州では一番多く感染者がでました。幸い10月から減少し始め、11月にはほぼ収束状態と言って過言ではない状態となりました。しかし 11 月末からオミクロン株の流行の兆しが見え始め、急速に世界に広がり始めました。これを読んでいただいている時にはどのような状態になっているか不安を感じずにはられません。

コロナ禍の中、感染予防の為に市民の皆様には病院運営にご協力をいただきました。マスクの着用、手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの維持をお願いしてきました。政府からも広報されているように今後も引き続き徹底をお願い申し上げます。病院への入口も1か所にさせていただき、体温チェックについても引き続き継続させていただきます。

入院患者さんとの面会についてはこれまでは禁止とさせていただいておりましたが、流行状況を鑑み面会については一定の条件下で緩和させていただきました。入院時に確認させていただいた最も近い近親者の方のみ予約制で短時間の面会は可能とさせていただきました。

東紀州地域には感染者が比較的少なかったため、院内での新規感染者の発生はありませんでした。院内で新規感染者が発生すると病院機能が一定期間停止し、地域中核病院が当地区には当院しかありませんので大変な事態となります。そのような事態に至らなかったのはひとえに当院受診者およびその関係者の方々、また当院スタッフのご協力の賜物の考えており、皆様のご協力に感謝申し上げます。

新型コロナワクチンの 3 回目の接種が開始されます。接種可能な方はできれば接種していただくことをお勧めします。ワクチン接種率を上げることは集団免疫を獲得するためであり、自分の為でもあり皆の為でもあります。是非ご協力をお願い申し上げます。

しかしまだコロナウイルスとの戦いは終わったわけではありません。もうしばらく気を引き締めてご協力をお願い申し上げます。

この 1 年の間にコロナ感染症を人類が撲滅できることを祈っております。それには皆様のご協力がぜひ必要です。我々病院職員も一丸となって頑張る所存ですので、皆様もご協力いただきますようお願い申し上げます。



病院長  
小藪 助成



### リニアク再稼働に向けて 治療のための診察～治療するまでの準備

令和 4 年春からのリニアク再稼働に向けて、おわせプラスでは、3 回にわたり掲載を行っています。今回は 2 回目の掲載で、治療のための診察～治療するまでの準備を掲載します。

#### 1 治療のための診察

リニアクによる放射線治療を開始する前に放射線治療医が各検査の結果をもとに診察を行い、放射線治療が適応かどうか、どのような方法で治療を行うかを判断します。

#### 2 放射線治療を開始するための準備

まず、どの場所にどれだけの放射線を照射して治療を行うかを決めるために CT 検査を行います。CT 検査は、放射線治療を受けていただく体位と全く同じ体位で行います。

通常、放射線治療は、数回～30 回前後、同じ部位に対して行うこととなりますので、ずれがなく正しい精度を保つために、場合によっては専用の固定具や枕を作成後、CT を撮像することもあります。

得られた CT 画像とこれまでの検査結果から、放射線治療計画装置というコンピューターで、治療を行うためのエネルギーや方向、回数などを決定します。この準備期間は、治療方法によって若干かわりますが、1 日～1 週間程度となります。

\*次回シリーズ 3 ③は治療について掲載します。

### 「命の教室」について

助産師 石倉 佳奈

令和 3 年 11 月 16 日に、宮之上小学校と矢浜小学校の小学 2 年生を対象に「命の教室」を行いました。この「命の教室」は尾鷲市の教育・医療・保健分野がそれぞれ連携し、次世代を担う子どもたちが命の尊さを学び、思いやりの気持ちを育て、思春期に関する正しい知識を身に付ける目的で行っています。授業では、スライドを中心に命の始まりや、受精卵から胎児に成長していく過程、赤ちゃんが生まれてくる状況を説明しました。そのほかにもお産の DVD の視聴や、体験学習として胎児の人形を抱っこをしたりしました。その時には、児童のみなさんが「赤ちゃんって重たいんやな、かわいいな」等とても嬉しそうにしていました。また、赤ちゃんが生まれてくる時の話やお産の DVD を観てもらった時には、児童の皆さんが真剣な表情で聞いていたことがとても印象的でした。

これからも、命は一人に一つしかない一番大切なものであり、自分の命も、周りの人の命も大切にできる人になってほしいという想いを伝え、新しい命の誕生の瞬間に携わる助産師として、これからも「命の教室」で伝えていけたらと思います。



### お願い

～医療安全管理委員会～

私たちは、患者さんの「お名前」を何度もお聞きしています。

当院では、患者さんを正しく確認させていただくために、ご本人やご家族の方に名前を名乗っていただいております。患者さんの治療には多くの医療従事者が関わっており、同姓や似たお名前の患者さんも多いことから、万が一本人確認を間違った場合、大きな事故につながる可能性があります。それを防ぐためにも、お名前をフルネームでお聞きしています。名前の確認は、医療安全の基本です。ご本人にフルネームを言っていただくことで、しっかりと確認ができ、とても助かっています。これからもご理解とご協力をお願いします。

